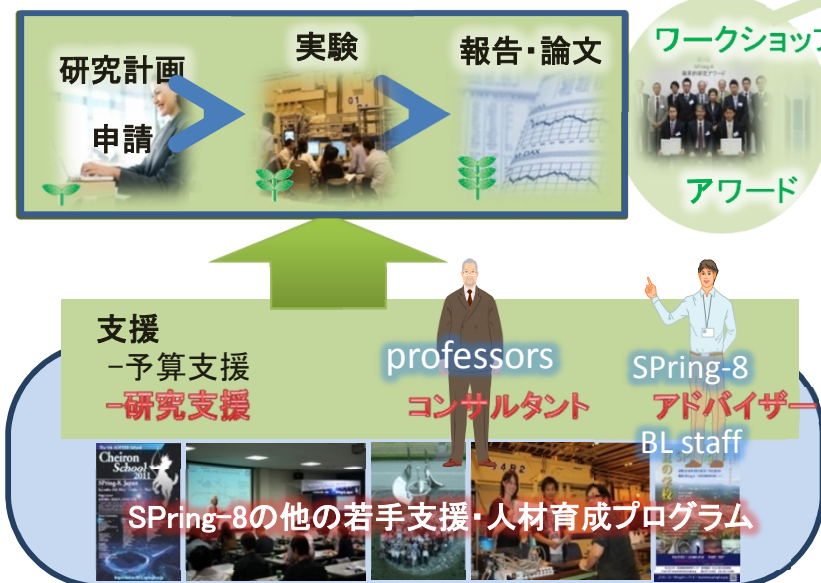


人材育成への貢献(外部:若手向け)

概要・目的

SPring-8の利用推進施策の一環として、利用促進業務として2005A期から【**萌芽的研究支援課題**】を実施。
 将来の放射光利用研究を担う若手育成を目的とし、修士または博士課程の学生を対象に、学生自らが実験責任者として課題を推進。本課題を通じて、研究者としての自立を奨励。



大学別利用課題数
(05B~12B期累計、上位20大学)

京都大学	64
東京大学	42
東北大学	28
広島大学	18
東京工業大学	15
奈良先端科学技術大学院大学	15
大阪大学	13
岡山大学	11
九州大学	11
千葉大学	8
神戸大学	7
筑波大学	6
北海道大学	6
北九州市立大学	6
愛媛大学	5
大阪府立大学	5
兵庫県立大学	5
上智大学	4
名古屋大学	4
関西学院大学	3

アワード受賞者(10名)の卒業後の進路

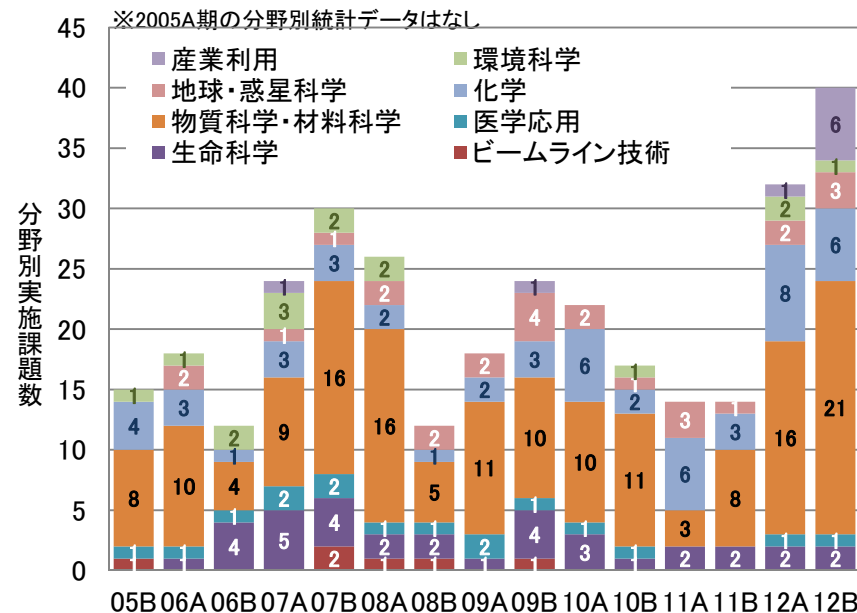
- ✓ 東京大学大学院理学系研究科 助教
- ✓ ソニー株式会社
- ✓ 東京工業大学大学院理工学研究科 研究員
- ✓ (独)国立環境研究所
- ✓ デュポン株式会社
- ✓ (独)海洋研究開発機構
- ✓ (独)産業技術総合研究所
- ✓ 東京工業大学 応用セラミックス研究所
(受賞者10名のうち直近の受賞者2名は在学中)

2012年度からの新たな施策

- ・応募資格の拡充(修士課程も対象に)
- ・コンサルタント導入による支援体制の拡充

予算的な支援として、

- ・実験消耗品(計 約5,520千円:2012年度)
- ・旅費(学生2名/課題 まで)を支援



「萌芽的研究支援課題」が全国の大学で活用され、物質科学を中心に広範な利用分野において、若手(将来の放射光利用研究者)を育成

人材育成への貢献(外部:産業界向け)

実地研修会

未経験者や、経験が浅い利用者に対して、SPring-8において、最先端放射光利用の実体験 (実験機器基本操作、実験基本手順等)を通じ、技術の習得を図り、利用の促進を図る。

講習会

豊富な利用経験をもつ専門家による講演により、SPring-8の最新の放射光利用研究成果の紹介や、データ解析実習等を通じて放射光利用の有用性を浸透させる。

ワークショップ

利用研究分野・利用研究手法毎に設定したテーマを基に実際の利用研究の適用事例や成果の紹介を通じ、参加者間の活発な質疑・議論を行うことにより、放射光利用の浸透を図っている。

また、専用ビームラインの運営組織や、SPring-8利用推進協議会等と協力して、SPring-8における広汎な産業利用成果を発表し、産業界における放射光の有効性を多くの研究者等に周知・啓発するとともに、産業界ユーザー間の相互交流や、SPring-8スタッフとの連携強化を図る目的で、産業利用報告会を開催している。

※このほか、施設と企業による施設の新技术開発等では企業の社員も開発にチャレンジすることで、間接的に育成に繋がっていると認識。

萌芽的研究支援のように、企業の若手研究者・技術者を育成する取組も今後の検討課題

登録機関による調査研究と利用者への還元

施設利用研究の促進のための方策に関する調査研究等の実施に努めることにより、放射光利用研究に関する一層の知見の蓄積を図り支援スタッフの支援能力を向上させ、その成果を利用者に還元し、実験手法の開拓や利用の掘り起こし等を図っている。

(共用促進法第12条に基づく登録機関による調査研究)

次の内容に関する課題を実施(文部科学大臣申請・承認内容)

①放射光共用施設の技術的検討や新しい利用技術の開発に資する調査研究

⇒ 利用者を先導する、あるいは高度な利用手法の開発 等

ex) 超高繰り返しX線チョッパーの開発 等

②新たな放射光利用研究分野の開拓に資する調査研究

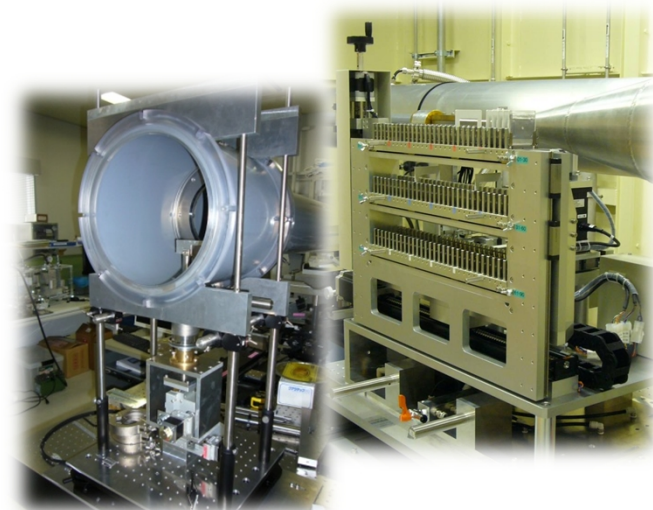
⇒ 各分野における先導的研究、新しい利用研究の開拓 等

ex) X線チョッパーを利用した時分割測定の実現 等

③利用者のニーズ、社会的要請に基づく新たな放射光利用方法の検討等に資する調査研究

⇒ 自動化、遠隔化 等

ex) XAFS測定の自動化 等



新しい実験手法の開拓による新規利用者の掘り起こしや、利用者の利便性確保などで利用者に還元するとともに、専用施設にも貢献 (FSBL、電通大BL、京大BL 等)